



議会の内容を
動画で見よう

質問 1

市民に痛みの伴う行財政構造改革と 為政者の身を切る覚悟について

議会動画
[6:45:40秒~ラスト迄]



市民に痛みが伴う行財政構造改革は 誰のためにやらなければいけない改革であるのか?

市長の答弁(要旨)

本改革は相模原市民お一人おひとりの生活を守っていくために行う改革である。

行財政改革を 推進する理由

「本市の財政状況や長期財政収支の動向、今後の本市の人口動態等を踏まえるとこれまでのような行財政運営を続けた場合、持続可能な都市経営は愚か、いずれは真に必要な行政サービスの提供すら困難となると見込まれる」と行政側より発信したものの。

行革のプランが出て、集会や街頭で声を聞くと市民からは…
『それだけ財政が厳しいんだったら、先ずあなたたちからやりなさい。
政令市の中で議員の人数が多いのだから』と…。

県内には相模原市・横浜市・川崎市の
3つの政令市がありますが



横浜市の約3倍
議員が多いと言われる

行政側が提案した行革プランは、議会側にも改革を迫られていることと同義である。
為政者の皆さんもその覚悟を決めなければならないと思います。

改革の旗振り役は改革本部の本部長の本村市長です!

市長は、行財政構造改革の参考にと、大阪市役所で松井市長とお会いされていました。

大阪市
松井市長

給与とボーナス40%削減
退職金に至っては現在0円

トツプの気迫が波及して、
特別職の報酬も削減 / 議員も報酬の削減

市長はどのような 痛みをとるのか?

市長の答弁(要旨)

これまで国の特別職と同様の扱いをしておりました常勤特別職の期末手当の増額を見送りました。また、行財政構造改革プランの策定については、収支均衡を基本として事業の選択と集中を行うこととしている。こうしたプランを踏まえ、常勤特別職の給与等につきまして判断する必要があるものと考えております。

私自身も言うだけでなく、住民代表として地域や市民の声を聞き、しっかりと説明すべきは説明をして行革に最大限協力させていただきます。

